平　成　２　９　年　度

事　　業　　報　　告　　書

社会福祉法人　朝倉市社会福祉協議会

平成２９年度事業報告

社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、平成２９年度の事業計画に基づき、地域に住む人が、「共に生き、支えあう」まちづくりを目指して、事業を遂行していましたが、７月５日に発生した九州北部豪雨災害により、やむを得ず事業の中断や変更を余儀なくされました。１日も早い復興・復旧をめざし災害ボランティアセンターを設置し運営に職員一丸となって取り組みました。また、被災された方々の支援を行うために、市より地域支え合いセンターを受託し市民生活に密着した新たな事業を行うことになりました。また、本会の独自事業である介護保険事業は、平成２９年度をもって廃止したことが主な事業報告となりました。

【 重 点 項 目 】

1　法人組織、事務局機能の強化
2　地区社会福祉協議会との連携強化
3　地域福祉活動計画の推進
4　機関紙「社協だより」の発行
5　共同募金配分金事業
6　福祉協力指定校事業
7　生活福祉資金等貸付事業
8　日常生活自立支援基幹的社協事業
9　日常生活自立支援事業
10　総合相談事業
11　地域生活支援事業
12　ボランティア活動の支援
13　介護予防・日常生活支援総合事業
14　Ｐ－ＵＰ教室事業
15　災害ボランティアセンターの運営
16　地域支え合いセンター事業
17　介護保険事業
18　障害者ホームヘルプ事業

1　法人組織、事務局機能の強化

(1)　理事会、評議員会、各種委員会は、災害ボランティアセンター運営に専念している期間を除き、開催しました。

(2)　職員の研修については、年間を通じて福岡県社会福祉協議会主催や両筑地区社会福祉協議会主催の研修会など６月までの研修に参加致しました。　九州北部豪雨で受けた被害により、復興・復旧に取り組むため災害ボランティアセンターの運営を行うことになり、今までの災害ボランティアセンター運営訓練の成果が出せた部分と未曾有の災害であったことで、想定していなかった問題が数多くあり、訓練と現実との違いを実感いたしました。　福岡県社会福祉協議会や両筑地区社会福祉協議会をはじめ、県内外の多くの社会福祉協議会職員等の皆さまのご協力をいただき、初めての災害ボランティアセンター運営が各職員の意識を向上させ、地域福祉の大切さを痛感することになりました。

(3)　例年、多年にわたり地域福祉の増進に寄与された方や多額の寄附をされた方を表彰し、地域福祉全般の啓発に努めるところ、災害により平成２９年度は表彰を中止しました。

2　地区社会福祉協議会との連携強化

地区社会福祉協議会は１４地区で構成され、６・７・８月を除き、連絡会を月１回（第２火曜日）開催し、地域福祉活動状況や情報交換を行うなど、本会との連携強化を図り、地域福祉の推進に努めました。

3　地域福祉活動計画の推進

平成２５年度に策定した「朝倉市地域福祉活動計画（継続版）」の推進状況について、平成２７年度に実施した地区社会福祉協議会からのヒアリングにより作成した「地域福祉活動計画（継続版）点検・評価表」に基づき計画の推進に取り組みました。

4　機関紙「社協だより」の発行

機関誌である「社協だより」を年６回（奇数月）発行し、本会の事務・事業等について、詳細に周知し啓発に努めるとともに、ホームページについても情報を更新しながら引き続き運用を行いました。

また、香典返し等のご寄附のお礼などを「社協だより」に掲載しました。

5　共同募金配分金事業

地域福祉活動推進のための共同募金配分金事業として、地区社会福祉協議会が実施している「ほのぼの配食・会食事業」をはじめ、小学３．４．５年生を対象とした福祉の心を育む「福祉教育教材」の配布を行いました。小・中学生を対象としたボランティアスクール（夏休み手話講座）は中止となりました。

6　福祉協力指定校事業

市内の小・中・高等学校と連携し、福祉教育の研究、実践を通じて児童及び生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育成することに努めました。

また、福祉協力指定校が実践していることを地域に反映できるよう市内２１の小・中・高等学校に支援を行いました。

7　生活福祉資金等貸付事業

福岡県社会福祉協議会の窓口事業として、本会が受付窓口となり、低所得世帯等を対象に低利子又は無利子で生活福祉資金等の貸付を行いました。

また、福岡県社会福祉協議会及び民生委員・児童委員との連携を強化し、償還の指導や生活援助を通じて世帯の安定と自立の支援に努めました。

8　日常生活自立支援基幹的社協事業

平成２７年９月から、福岡県社会福祉協議会から委託を受けて事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象に、基幹的社協として日常生活自立支援事業を行いました。

9　日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づいて、認知症や知的障がい、精神障がい等で判断能力が十分でない方の権利を擁護するため、地域において自立した生活が送られるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行い、支援することに努めました。

10　総合相談事業

相談事業は、心配ごと相談を毎月第２・第４火曜日に本所で、毎月第１・第３火曜日に朝倉支所で、毎月第２・第４水曜日に杷木支所で実施しました。法律相談については、弁護士による相談を月２回、司法書士による相談を月１回本所で実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

11　地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づいて、障がい児、障がい者が持っている能力に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、事業の推進を行いました。

12　ボランティア活動の支援

ボランティア活動に係る情報を提供するとともに、活動のきっかけづくりや相談・支援、情報提供などの事業を推進しました。

また、市民を対象とした各種のボランティア養成講座の開催や朝倉市住民福祉ボランティアのつどいを開催するなど、人材の発掘と育成に努めるとともに、ボランティア活動のＰＲと支援を行いました。

13　介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防事業として市から委託を受け、地域ミニデイ推進事業（ふれあい・いきいきサロン）、通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）、高齢者筋力トレーニング事業、健康づくりサポート教室を積極的に実施し、介護予防及び健康管理・維持の推進に努めました。

14　Ｐ－ＵＰ教室事業

高校生以上６４歳以下の方を対象にして、トレーニング機器を使って体力の維持向上や疾病予防等を目的として、健康な生活が送られるように支援を行いました。

15　災害ボランティアセンターの運営

朝倉市社会福祉協議会は、災害に備えて、朝倉市との「災害時におけるボランティア活動に関する協定」や両筑地区社会福祉協議会（6市町村）と「災害時相互支援協定」、公益社団法人朝倉青年会議所との「災害時相互協力協定」を締結していました。 平成29年7月の豪雨によって、朝倉市が災害ボランティアセンターの設置が決定すると運営に関して、それぞれの協定書に基づき、準備段階から両筑地区社協、朝倉青年会議所との連携が発揮され、スタッフや物資等に関して、迅速にかつ長期に亘って、協力を得ることができました。 また、近隣市町村のみならず、県内外から多くの社協職員・NPOやさまざまな団体が災害ボランティアセンター運営に協力を得ることができました。 全国各地からは、延べ45，396名（3月末）のボランティアが朝倉市へ集結、活動して下さいました。

16　地域支え合いセンター事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。

17　介護保険事業

独自事業である介護保険事業は、居宅介護支援事業と訪問介護事業を朝倉支所で実施し、総合かつ効率的にサービスを提供するなど適正な事業の管理・運営に努めてきましたが、平成３０年３月をもって介護保険事業を廃止といたしました。

18　障害者ホームヘルプ事業

障害者総合支援法に基づき、ホームヘルパーが利用者の居宅を訪問して、入浴、洗濯、食事の調理及び掃除等の家事や生活に関する相談や助言の支援を行ってきましたが、平成３０年３月までで介護保険事業と同じく障害者ホームヘルプ事業も廃止いたしました。

【三役会】　　平成29年度事業報告

期　日	名　称	内　容
5月29日	第1回　三役会	【報告・協議事項】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款細則の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会経理規程の全部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度事業報告について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度資金収支決算について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員会の招集について 8　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 9　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会理事の選任について 10　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会監事の選任について 【その他、協議報告事項】 1　次回、機関会議の開催日程について
11月10日	第2回　三役会	【報告・協議事項】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第1次)の専決処分について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第2次)について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会委員会設置規程の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会財政調整基金設置規程の一部改正について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について 8　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定重度訪問介護事業所朝倉ヘルパーステーション運営規程の廃止について 9　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会訪問介護・介護予防訪問介護・朝倉市総合事業運営規程の廃止について 【その他、協議報告事項】 1　次回、機関会議の開催日程について
3月5日	第3回　三役会	【報告・協議事項】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第3次)の専決処分について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第4次)について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正につて 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度事業計画(案)について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度当初予算(案)について 【その他、協議報告事項】 1　次回、機関会議の開催日程について

【理事会】　　平成29年度事業報告

期　日	名　称	内　容
6月7日	第1回　理事会	【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款細則の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会経理規程の全部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度事業報告について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度決算について いて 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員会の招集について 8　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 【その他、報告協議事項】 1　次回の理事会開催について
6月21日	第2回　理事会	【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について 2　社会福祉法人朝倉市福祉会（清流学園）の理事の推薦について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員会の選任について 【その他、報告協議事項】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会広報委員会の選任について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会生活福祉資金貸付調査委員会委員の選任について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会表彰審査会委員の選任について
10月25日	第3回　臨時理事会	【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会居宅介護等事業の廃止について 【その他、報告協議事項】 1　次回の理事会開催について
11月20日	第4回　理事会	【報告】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算（第1次）の専決処分について 【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算（第2次）について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会委員会設置規程の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会財政調整基金設置規程の一部改正について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定重度訪問介護事業所朝倉ヘルパーステーション運営規程の廃止について 8　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会訪問介護・介護予防訪問介護・朝倉市総合事業運営規程の廃止について 【その他、報告協議事項】 1　次回の理事会開催について

【理事会】　　平成29年度事業報告

期　日	名　称	内　容
3月15日	第5回　理事会	【報告】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第3次)の専決処分について 【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第4次)について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度事業計画(案)について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度当初予算(案)について 【その他、報告協議事項】 1　次回の理事会開催について

【評議員会】　　平成29年度事業報告

期　日	名　称	内　容
6月21日	第1回　評議員会	【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款細則の一部改正について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会経理規程の全部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度事業報告について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成28年度決算について いて 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会理事の選任について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会監事の選任について 【その他、報告協議事項】 1　次回の評議員会開催について
11月29日	第2回　評議員会	【報告】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第1次)の専決処分について 【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第2次)について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会委員会設置規程の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会財政調整基金設置規程の一部改正について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の廃止について 7　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会指定重度訪問介護事業所朝倉ヘルパーステーション運営規程の廃止について 8　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会訪問介護・介護予防訪問介護・朝倉市総合事業運営規程の廃止について 【その他、報告協議事項】 1　次回の評議員会開催について
3月28日	第3回　評議員会	【報告】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第3次)の専決処分について 【議事】 1　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成29年度補正予算(第4次)について 2　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について 3　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について 4　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について 5　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度事業計画(案)について 6　社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度当初予算(案)について 【その他、報告協議事項】 1　次回の評議員会開催について

平成２９年度事業明細（総務課）

１．法人運営事業	独自事業
２．法人運営管理事業	補助事業
３．総合相談事業	補助事業
４．老人福祉センター指定管理事業	受託事業
５．生活福祉資金貸付相談事業	受託事業

１．法人運営事業

皆さまからの寄附金等を集約し、本会が行う社会福祉事業に必要に応じて、配分金を拠出しています。

一般寄附金・・・・・　１８件　　１６，９３０，１１２円
（災害見舞金含む）
香典返し・・・・・・３２５件　　４，７１８，０００円

計　　２１，６４８，１１２円

平成２９年度でマイクロバス２台購入用にご寄附がありましたので、マイクロバス２台を購入し、１台を外出支援サービス用に１台を法人専用にしています。

【法人貸出件数】
一　般・・・・２７件
サロン・・・・６２件

２．法人運営管理事業

本会職員のうち、特定の事業を除く職員６名・嘱託４名の人件費・福利厚生費

３．総合相談事業

総合相談・・・心配ごと相談、法律相談、（司法書士相談、人権相談）

【心配ごと相談】
甘木・・・開催２４回　　相談１２件
朝倉・・・開催２３回　　相談　９件
杷木・・・開催２２回　　相談　９件　　相談件数計　３０件

相談内容・・・生計７件、職業・生業１件、住宅４件、家族６件、離婚２件
人権・法律１件、財産１件、老人福祉２件、苦情２件、その他４件

【法律相談】
開催２３回　相談７６件

【司法書士相談】
開催１１回　相談２３件

４．老人福祉センター指定管理事業
　　５年間の指定管理契約（H27 年度～H31 年度）

【訓練】
・年１回（通報）

◎朝倉老人福祉センター　　来館者数　１０，３５３名
（災害ボランティアセンター関連含む）

【活動事業】
・いきいき健康クラブ
・筋力向上トレーニング
・健康づくりサポート教室
・P-UP 教室
・心配ごと相談
・人権相談
・地域支え合いセンター甘木及び朝倉

◎杷木老人福祉センター　来館者数　２３，８１３名
（災害ボランティアセンター関連含む）

【活動事業】
・いきいき健康クラブ
・心配ごと相談
・人権相談
・行政・消費生活相談
・地域支え合いセンター杷木

５．生活福祉資金貸付相談事業

【相談件数】１０４件

【貸付件数】

・緊急小口資金	１４件	１，２７０，０００円
・教育支援資金	７件	１４，７６３，０００円
・福祉費	２件	１６０，０００円
合計	２３件	１６，１９３，０００円

以上

平 成 29年 度 事 業 明 細(福祉課)

1.	地域福祉活動計画推進事業	独自事業
2.	住民福祉事業(P－UP教室事業)	独自事業
3.	ふれあいのまちづくり事業	補助事業
4.	介護保険事業	介護事業
5.	障害者自立支援事業	介護事業
6.	指定介護予防支援事業	受託事業
7.	障害者移動支援事業	受託事業
8.	高齢者生活管理指導員派遣事業	受託事業
9.	筋力トレーニング事業	受託事業
10.	健康づくりサポート事業	受託事業
11.	障害者地域生活支援事業	受託事業
12.	通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)	受託事業
13.	通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス)	受託事業
14.	地域ミニデイ推進事業(ふれあい・いきいきサロン)	受託事業
15.	共同募金配分金事業	共同募金事業
16.	日常生活自立支援事業	受託事業
17.	日常生活自立支援基幹的社協事業	受託事業
18.	住民福祉ボランティアのつどい	共同募金事業 補助事業
19.	災害ボランティアセンター運営事業	独自事業
20.	地域支え合いセンター運営事業	受託事業
21.	その他独自事業	独自事業

1. 地域福祉活動計画推進事業

地域福祉活動計画（継続版）を平成25年度に策定し、平成26年度から平成30年度までの5年間を推進期間としました。地域福祉活動計画（継続版）に基づいて、平成27年度に行ったヒアリングにより作成した地区ごとの地域福祉活動計画（継続版）点検・評価表に基づき、計画の推進に努めました。

2. 住民福祉事業（P－UP教室事業）

朝倉市内在住の64歳以下を対象として、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、疾病の予防やメタボリックシンドロームの改善等、健康で活動的な生活を営むことを目的として実施しました。災害により、利用者が減少しました。

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
利用者（実数）	138名	188名	△50名	73%
利用者（延数）	737名	1，054名	△317名	70%

3. ふれあいのまちづくり事業

高齢者、障がい児及び障がい者等の保健福祉の増進と市民の地域福祉活動の推進を図るために、地区社会福祉協議会が主体となって実施する小地域ネットワーク事業、ほのぼの配食・会食事業、及びボランティア育成事業への支援や各種相談事業を開催しました。

4. 介護保険事業

平成30年1月までで、介護保険事業の訪問を中止したことにより、利用者及び利用回数が減少しました。

要介護状態にある高齢者・要支援状態（予防）にある高齢者が、可能な限り在宅で、有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、各個人の要介護度と心身の状況に応じた家事援助・身体介護のサービスを提供しました。

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
居宅介護支援事業	5,430,881円	8,273,090円	△2,842,209円	66%
訪問介護事業	5,288,490円	8,942,350円	△3,653,860円	59%
介護保険事業計	10,719,371円	17,215,440円	△2,413,820円	62%

5. 障害者自立支援事業

平成30年1月末までで、障害者ホームヘルプ事業を中止したことにより、利用者及び利用回数が減少しました

障害者総合支援法に基づき、ホームヘルパーが自宅を訪問して、入浴、洗濯、食事の調理及び掃除等の家事や生活に関する相談及び助言に関する支援を行いました。

利用回数 ・・・・ 209回 （月平均 17回）

利用者数 ・・・・ 20名 （月平均 2名）

利用時間 ・・・・ 249時間 （月平均 21時間）

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
利用回数	209回	253回	△44回	83%
利用者数(延数)	20名	24名	△4名	83%
利用時間	249時間	493時間	△244時間	51%

6. 指定介護予防支援事業

平成30年1月末までで、介護保険事業の訪問を中止したことにより、利用者及び利用回数が減ったため、収入が減額となりました。

朝倉市地域包括支援センターからの利用者の予防給付ケアマネジメントの作成依頼を受けて業務を実施しました。

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
利用者(要支援1)	60名	84名	△24名	71%
利用者(要支援2)	66名	55名	＋11名	120%
利用者数(延数)	122名	139名	△17名	88%

7. 障害者移動支援事業

外出が困難な重度の視覚障がい者、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者に対し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加を目的として外出の際の移動支援事業を実施しました。

利用回数 ・・・・ 21回 （月平均 2回）

利用者数 ・・・・ 16名 （月平均 1名）

利用時間 ・・・・ 76時間 （月平均 6時間）

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
利用回数	21回	45回	△24回	47%
利用者数(延数)	16名	34名	△18名	47%
利用時間	76時間	190．5時間	△114．5時間	40%

8. 高齢者生活管理指導員派遣事業

在宅の一人暮らし高齢者家庭などに対し、日常生活上の援助を行うことによって要介護状態への進行を防止することを目的として実施しました。

派遣回数 ・・・・　10回　（月平均　1回）

利用者数 ・・・・　3名　（月平均　1名）

利用時間 ・・・・　10時間　（月平均　1時間）

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
派遣回数	10回	0回	＋10回	0%
利用者数	3名	0名	＋3名	0%
利用時間	10時間	0時間	＋10時間	0%

9. 筋力トレーニング事業

高齢者（65歳以上）の方を対象に、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持及び向上を図り、3か月間（計24回）実施し、介護予防・健康支援を目的として実施しました。

毎週火曜日と金曜日（週2回） 3か月間で24回の事業（1クール）として実施。

登録者数　・・・・　48名（ 12名／1クール平均）

年間利用者　・・・・　913名（延利用者数）

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
登録者数	48名	48名	±0名	100%
利用者（延数）	825名	913名	△88名	90%

10. 健康づくりサポート事業

筋力トレーニング事業を修了された方を対象として、継続的にトレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持向上を目的として実施しました。

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
利用者（実数）	650名	694名	△44名	94%
利用者（延数）	2，468名	2，897名	△434名	85%

11. 障害者地域生活支援事業

障がい児及び障がい者にとって、もっとも身近な市町村において、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がい者のニーズに合った事業を実施することにより、自立と社会参加ができることを目的として実施しました。

12. 通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)

高齢者(65歳以上)の方を対象に、介護予防を中心とした生きがい対策の取り組みとして、健康体操や栄養改善及び口腔機能などを柱として、レクリエーションや季節の行事などを通じて、楽しみながら心と体を元気にし、いつまでも自宅で健康に生活ができることを目的として実施しました。

甘木地区	···· 415回	利用者数	···· 7,592名	(1回平均 18名)
朝倉地区	···· 139回	利用者数	···· 1,608名	(1回平均 12名)
杷木地区	···· 85回	利用者数	···· 1,196名	(1回平均 14名)
開催回数	···· 639回	利用者数	····10,396名	(1回平均 16名)

13. 通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス)

通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)を行う会場への送迎を行うことを目的として実施しました。なお、朝倉地区はコミュニテイバスを利用しています。

		回数	利用者数	
甘木地区	回数・利用者 ····	415回	7,212名	(1回平均 17名)
杷木地区	回数・利用者 ····	85回	1,191名	(1回平均 14名)
地域送迎	回数・利用者 ····	86回	1,314名	(1回平均 15名)
合 計	回数・利用者 ····	586回	9,717名	(1回平均 17名)

14. 地域ミニデイ推進事業 (ふれあい・いきいきサロン)

家に閉じこもりがちな高齢者等に対して、自治公民館などで「ふれあい・いきいきサロン」の開催を積極的に推進するとともに、レクリエーション、健康体操や趣味活動を支援し、介護予防と地域における福祉コミュニテイの推進に努めました。

	平成29年度	平成28年度	増減	前年度対比
登録個所数	122か所	133か所	△11所	92%
実施開催数	956回	1,130回	△174回	85%
参加者数	15,642名	18,429名	△2,787名	85%

15. 共同募金配分金事業

共同募金の配分金を財源として、ボランティアワーク事業、ボランティアスクール事業、住民福祉ボランティアのつどい、交流クリスマス会、ボランティア育成事業の開催、福祉協力指定校、ほのぼの配食・会食事業やふれあい・いきいきサロンへの支援及び各福祉団体への支援を実施しました。

16. 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活が送れるよう支援計画に基づき、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の事業を行いました。

17. 日常生活自立支援基幹的社協事業

日常生活自立支援基幹的社協事業は、平成27年9月より、福岡県社会福祉協議会から委託を受け事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象として基幹社協としての事業を行いました。（相談 → 訪問調査 → 支援計画作成 → 契約 → モニタリング）

	朝倉市	小郡市	うきは市	筑前町	大刀洗町	東峰村	合計
件数	20	24	0	7	1	8	60

18. 住民福祉ボランティアのつどい

福祉に関する理解と啓発を行うとともに、地域で活動する市内福祉ボランティア団体の活動事例発表及び新たなボランティアの人材発掘と育成を行うことを目的として、朝倉市ボランティア連絡協議会と共催で講演を実施する予定でしたが、九州北部豪雨のため中止といたしました。

19. 災害ボランティアセンター運営事業

朝倉市との「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」に基づき、7月9日からボランティアセンターを設置し運営を行いました。

全国各地から45，396人のボランティアに来ていただき朝倉市の復興・復旧に活動いただきました。また、両筑地区社協をはじめ福岡県社協、九州ブロック各社協や中国ブロック各社協、四国ブロック各社協の職員には、運営スタッフとして連日協力をいただきました。また、NPO法人、ボランティア団体、医療福祉関係団体など多くの皆さんの協力を得て運営することが出来ました。

ニーズ件数　1，266件（延べ活動件数　3，162件）

完了件数　　1，262件　　残件数　4件

20. 地域支え合いセンター運営事業

昨年の九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、朝倉市復興計画に基づき、朝倉市からの委託を受け、平成32年度までの3年間を目途として相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行うことを目的として

運営を行っています。

訪問件数　　平成30年3月31日現在

地区	仮設住宅	みなし仮設	公営住宅	合計
甘木	30件	53件	5件	88件
朝倉	7件	37件	11件	55件
杷木	48件	193件	0件	241件
合計	85件	283件	16件	384件
訪問件数	85件	230件	9件	324件
訪問率	100%	81%	56%	84%

21．その他自主事業

その他の事業として、福祉体験学習や福祉機器等の貸出を実施しました。